

資料 3

平成30年度 学校教育評価表(教職員アンケート)集計結果

A そう思う B だいたいそう思う C あまりそう思わない
D まったくそう思わない E わからない

上段:実数
下段:%

I. 学校自己評価に関するもの

		評価内容	A	B	C	D	E	
1	総務部	研修旅行や総合祭PTA展、持久歩大会補助などPTA活動が活性化されている。	15 19.7	57 75.0	0 0.0	0 0.0	4 5.3	
2	教務部	学校行事の運営や各業務について、効率化、簡素化が行われている。	4 5.3	48 63.2	19 25.0	4 5.3	1 1.3	
3	教育研究部	ユネスコスクールとして、ESD委員を中心に生徒が工夫して取り組める活動を進めている。	20 26.3	49 64.5	3 3.9	0 0.0	4 5.3	
4	生徒指導部	服装の整備や時間の厳守など集団生活を営むうえでの基本的な生活習慣を育成している。	12 15.8	53 69.7	6 7.9	5 6.6	0 0.0	
5	特別活動部	学校行事や生徒会活動、部活動などに主体的に取り組む生徒を育成している。	7 9.2	46 60.5	19 25.0	3 3.9	1 1.3	
6	進路指導部	生徒の進路希望を考慮しつつ、ハローワークや業者と連携し、各種ガイダンス・説明会を実施して生徒の進路意識を高めている。	22 28.9	50 65.8	2 2.6	0 0.0	2 2.6	
7	人権・同和教育部	人権・同和教育LHRの指導案を改訂するとともに、生徒が主体的に活動する人権学習を推進している。	19 25.0	51 67.1	2 2.6	0 0.0	4 5.3	
8	教育相談部	SC、SSWとのケース会等を通して、校内の支援体制を強化し、支援の必要な生徒に対して可能な支援を丁寧に行っている。	20 26.3	50 65.8	1 1.3	0 0.0	5 6.6	
9	特別活動部	歯科検診・視力検査における要受診者の受診率を上げ、生徒の健康の保持増進に努める態度を育てている。	13 17.1	54 71.1	3 3.9	0 0.0	6 7.9	
10	保健環境部	各分掌でのファイルの整理を行うとともにセキュリティの意識を高めている。	7 9.2	56 73.7	8 10.5	2 2.6	3 3.9	
11	教育情報部	日常の点検により危険・不良箇所を把握し、早期に修繕・改善を行い、安全で快適な学習環境が保たれている。	11 14.5	56 73.7	6 7.9	0 0.0	3 3.9	
12	学年団	1年	生徒が高校生としての自覚を持ち、基本的な生活習慣と進路意識を身につけるよう指導している。	7 10.9	50 78.1	6 9.4	1 1.6	0 0.0
		2年	生徒が進路選択に向けて自分で情報を収集し考え決定する力をつけるよう指導している。	7 10.6	50 75.8	6 9.1	1 1.5	2 3.0
		3年	生徒が自己の適性を知り、将来の姿を現実的に描いて進路目標を早期に明確化し、達成できるよう指導している。	4 6.3	50 78.1	8 12.5	0 0.0	2 3.1

Ⅱ. 学校経営・教育活動に関するもの

	評価内容	A	B	C	D	E
13	本校の教育課題や年度の教育計画について、職員会議をはじめ各種会議において話し合う機会が持たれている。	9 11.8	56 73.7	9 11.8	1 1.3	1 1.3
14	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、生徒の人権を尊重する立場に立って、生徒の指導が行われている。	14 18.4	60 78.9	2 2.6	0 0.0	0 0.0
15	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	8 10.5	55 72.4	9 11.8	3 3.9	1 1.3
16	各分掌や各学年団で課題や悩みが気軽に相談できる雰囲気がある。	10 13.3	58 77.3	6 8.0	1 1.3	0 0.0
17	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、危機管理の役割分担が明確化されている。	11 14.5	59 77.6	3 3.9	0 0.0	3 3.9
18	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施され、教育実践に役立つような内容となっている。	6 7.9	57 75.0	10 13.2	1 1.3	2 2.6